

土屋さんと皆さんへのご返答

インターネットの決め事の決め方
2015/07/17 janog36

日本ネットワークインフォメーションセンター
(JPNIC)

前村 昌紀 (まえむらあきのり)



前村って何者？ – 略歴

- AS2518を立ち上げた(1994-1995)
- JANOGの立ち上げに関わった(1997)
- JPNICのIPアドレス部会に引き込まれた(1997)
- AS2518から、外資キャリアに移った(2000)
 - でも、JPNICの仕事はついてきた
- ずぶずぶ。。 APNIC理事(2000) JPNIC理事(2002)
- JPNICに両足突っ込んだ(2007) 理事辞職、職員に
- IPアドレス以外の仕事をするようになった(2009)
 - でもAPNIC理事の仕事はついてきた
- 今に至る

前村って何者？ – イマココ

- JPNICインターネット推進部 部長
 - JPNICのIPアドレス以外の事業を統括
 - 特に、政策調査を直轄
- APNIC理事会(Executive Council)議長
 - APNIC会員の選挙で選出、事務局の業務遂行を監督
- NETmundial Initiative 調整評議会メンバ
 - <https://www.netmundial.org/>
 - インガバの新たな活動（疑義も多く。。）
- トップレベルドメイン名空間ラベル生成ルールに関する「日本語生成パネル」(JGP) 副チェア

奥谷泉って何者？

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=10153770949321549&set=a.10150184749996549.302612.711741548&type=1&theater>

- 奥谷泉（おくだにいずみ）
 - JPNICインターネット推進部・IP事業部
 - 政策調査、ポリシーリエゾン担当
 - IANA監督権限移管の番号資源に関するCRISPチーム (Consolidated RIR IANA Stewardship Proposal Team) チェア
 - ICANN CCWG-Accountability (ICANN説明責任に関するクロスコミュニティワーキンググループ) ASO代表メンバ
 - IGF MAG (Internet Governance Forum Multistakeholder Advisory Group)メンバ
 - ISOC AC(Advisory Council) co-chair
 - まぶーの奥さん



1分用語解説

IANAって何

- IANA：インターネット黎明期から、インターネットの番号台帳を管理。
 - **IPアドレス**：全域管理から、徐々にRIRに管理移管して行き、現在は/8単位の台帳、特殊アドレス、RIRから返却されてきたIPアドレスを管理
 - **ドメイン名**：DNSルートゾーンの管理（管理者、ネームサーバ、DNSSEC関連情報）
 - **プロトコルパラメータ**：RFCで規定されるありとあらゆるプロトコルのパラメータを管理

1分用語解説

IANAにまつわる歴史

- インターネット黎明期から、番号台帳を管理機構として知られる。Mr. IANA といえば、Jon Postel
- 90年代後半：ドメイン名管理で問題勃発。
 - 商用化したインターネットでは、ドメイン名==商標であり、商標保護機構がまるでできていなかった。
 - 商標をおさえようと登録が殺到するが、これをNSIが独占する外形となっていた。
- 時のグローバルなインターネットコミュニティと米国政府の間での駆け引き
- ドメイン名を含むすべてのIANA機能を「米国政府」から「新会社」に移管→ ICANN, 1998

2014年3月14日

米国商務省電気通信情報局 (NTIA)

<http://www.ntia.doc.gov/press-release/2014/ntia-announces-intent-transition-key-internet-domain-name-functions>

- IANA監督権限を「グローバルなマルチステークホルダーコミュニティ」に移管する意向を表明

The screenshot shows the NTIA website with the following content:

- Header:** National Telecommunications & Information Administration, United States Department of Commerce. Includes a search bar and social media icons.
- Navigation:** TOPICS, NEWSROOM, PUBLICATIONS, BLOG, OFFICES, ABOUT, CONTACT.
- Left Sidebar (Topics):** Spectrum Management, Broadband, Internet Policy, Domain Name System, Public Safety, Grants, Institute for Telecommunication Sciences.
- Breadcrumbs:** Home » Newsroom » Press Releases » 2014
- Warning:** A red box contains a PHP warning: "warning: Missing argument 2 for variable_get(), called in /var/www/html/sites/all/modules/print/print_pages.inc on line 187 and defined in /var/www/html/includes/bootstrap.inc on line 587."
- Main Title:** NTIA Announces Intent to Transition Key Internet Domain Name Functions
- Topics:** ICANN, IANA functions, Internet Policy, Domain Name System
- FOR IMMEDIATE RELEASE:** March 14, 2014. News Media Contact: NTIA, Office of Public Affairs, (202) 482-7002, press@ntia.doc.gov
- Featured Initiatives:** Digital Literacy, Broadband USA, Internet Policy Task Force, Wireless Broadband: 500MHz, National Broadband Map.
- Welcome to Our New Website:** We are currently updating our website to better serve you. [Read more.](#)
- Main Text:** WASHINGTON – To support and enhance the multistakeholder model of Internet policymaking and governance, the U.S. Commerce Department's National Telecommunications and Information Administration (NTIA) today announces its intent to transition key Internet domain name functions to the global multistakeholder community. As the first step, NTIA is asking the Internet Corporation for Assigned Names and Numbers (ICANN) to convene global stakeholders to develop a proposal to transition the current role played by NTIA in the coordination of the Internet's domain name system (DNS).
- Footer:** NTIA's responsibility includes the procedural role of administering changes to the authoritative root zone file – the database containing the lists of names and addresses of all top-level domains – as well as serving as the historic steward of the

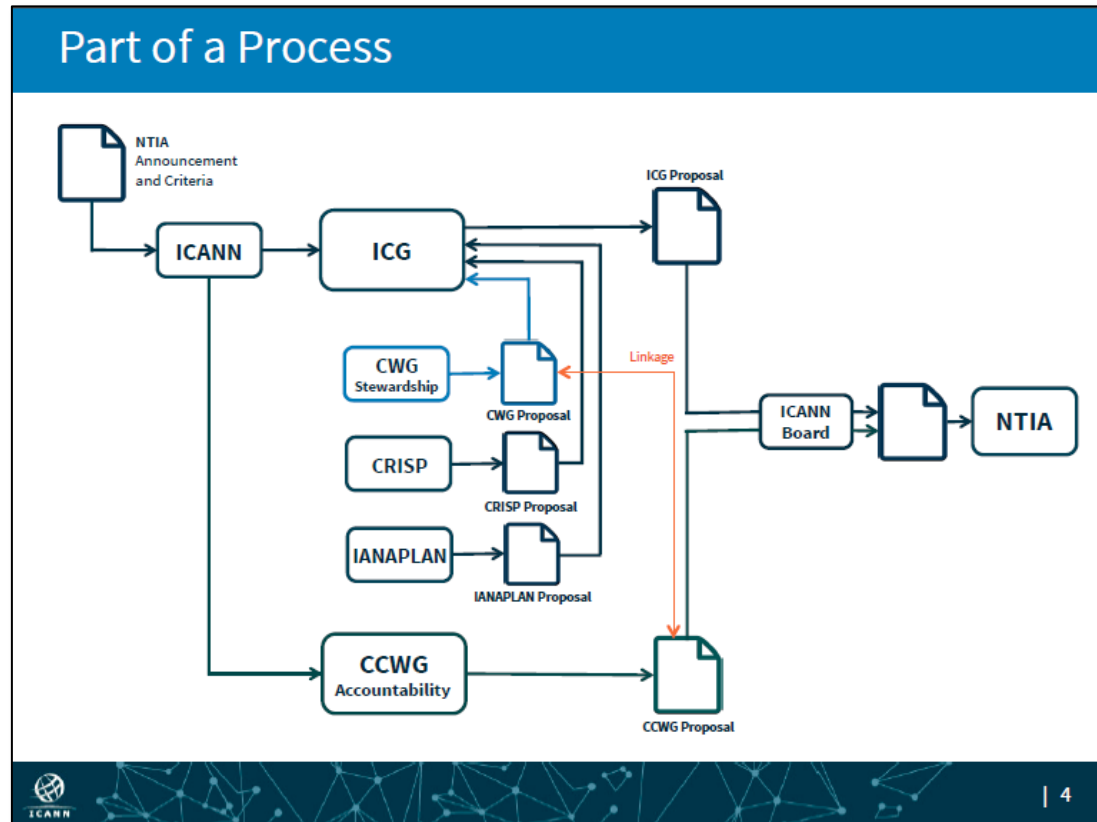
なぜ今？

- ICANNにIANA機能を移した1998年から、「DNS機能の民間への移管」プロジェクトは、**米国が契約上の監督権限**を持ちつつ進んでいた。
- 「**インターネットに対する米国の特別な地位**」に、一部政府から疑義が呈され続けた。
- 2013年スノーデン事件：米国が「自由な情報流通」を標榜しながら「流通される情報は傍受？」という新たな疑義
- 一つの見方：米国インターネット業界が信頼を失っていく中の、打開策の一つ

- 本件は、どのようにして議論が進められているのでしょうか？
- 今はどのようなテーマで議論が起きているのでしょうか？
- 2014年頃から本件の議論が起きているようですが、いつごろ最終的な結論がでるのでしょうか？

議論はどのように？

- ICANN（呼びかけ人）
→ ICG（IANA stewardship transition Coordination Group）
- ICG → 3資源のコミュニティ
- 資源ごとに提案策定して、ICGに提出
↑ イマココ



- 本件は、どのようにして議論が進められているのでしょうか？
- 今はどのようなテーマで議論が起こっているのでしょうか？
- 2014年頃から本件の議論が起きているようですが、いつごろ最終的な結論がでるのでしょうか？

どんな議論？

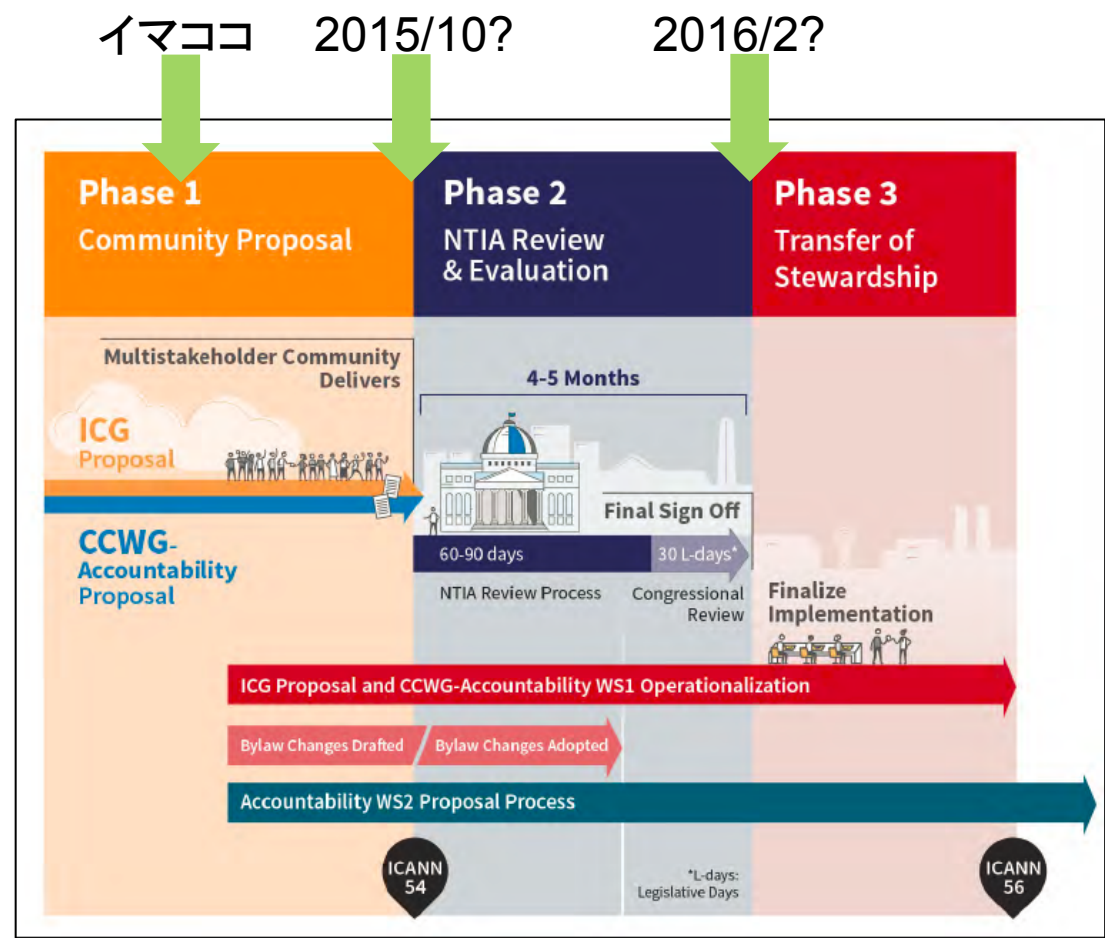
NTIAの監督をどういう仕組みで置き換える？

- プロトコルパラメータ(IETF)
 - 現状の枠組み（IETF-ICANN覚書）でほぼ充足
- 番号資源(RIRs, CRISPチーム)
 - RIRとICANN（IANA機能運営者）の間で契約を結ぶ
- ドメイン名
 - IANAをICANNの完全子会社(PTI)として分離して、ICANNとPTIの間で契約を結ぶ

- 本件は、どのようにして議論が進められているのでしょうか？
- 今はどのようなテーマで議論が起こっているのでしょうか？
- 2014年頃から本件の議論が起きているようですが、いつごろ最終的な結論がでるのでしょうか？

結論はいつ頃？

- 3資源提案出揃い (イマココ)
- ICG統合提案検討
- ドラフト公開 + 意見募集 (8月?)
- ICG統合提案確定、ICANNに提出 (9月?)
- ICANN理事会承認 (10月ダブリン会議?)
NTIAに提出
- 米国議会承認まで最大5ヶ月?



- どのような組織・コミュニティが議論に参加しているのでしょうか？
- 各々の組織・コミュニティが参加するためのモチベーションは何なのでしょうか？

どんな人が どんなモチベーションで？

- 3資源のコミュニティ：
 - IETF：JANOGより開発研究寄りの技術コミュニティ
 - RIRs：JANOGのように運用志向、少し事務方的？
 - ICANN：マルチステークホルダー（業・民・官含む）
- ICG：マルチステークホルダー（業・民・官含む）
- 「インターネットの根幹」を守るため
- 主翼となるのは、IANA機能や各資源の機能に関して熟知している人が多い

- 今後、我々のようなネットワーク運用者にどのような影響が起こり得るのでしょうか？
- 最悪の場合、日本企業やインターネットはどのような事態になり得るのでしょうか？

影響？

その1：今の段階でプロセス論を問われれば

- 楽観論：
 - みんなががんばってきた甲斐があって、検討プロセスの中で最善の提案ができる見通しが見えてきた
- 悲観論：
 - マルチステークホルダーの場では、予期しないことが起こりえる。（今まではがんばって上手に収めた）
 - NTIAや米国議会で、予期しないことが起こりえる（これは簡単には分からない。最善は尽くしている）

- 今後、我々のようなネットワーク運用者にどのような影響が起こり得るのでしょうか？
- 最悪の場合、日本企業やインターネットはどのような事態になり得るのでしょうか？

影響？

その2：良い形の移管後体制ができなかったら？

- リスク要因
 - 精密を期すあまり、重厚長大なプロセスを強いられる
 - ccTLDの登録変更（他のマネージャへの移管、NS、DNSSEC関連レコードの変更など）で、適切なハンドリングができない
 - などなど
- TLDレジストリ、RIRsなどの業務、ひいては様々な事業者の業務に影響が及ぶ恐れがある

- 日本の組織・コミュニティは議論に参加できているのでしょうか？
また、実際にはどれほどの発言力があるのでしょうか？

教えて前村先生！ その6

- 我々ネットワーク運用者の立場では何ができるのでしょうか？
- 議論に参加する場合、どのくらいの手間暇がかかるのでしょうか？

関与？

- IANAに近いそれぞれの立場で、JPNICやJPRSが深く関与しています。
 - 提案策定的意思決定に関与すれば、ボトムアップの提案に対しても、小さくない影響力が持てます。
- パブコメ提出で、「その意見の大きさ」に寄与できます。
- ただし、手間は掛かります。以下手間の例
 - 奥谷1.0人 ÷ CRISPチームチェア稼働
+ ICANN説明責任WGメンバ稼働
 - CRISP提案：25ページ、IETF提案：33ページ、
ICANN CWG提案：130ページ（全部英語ね。）

- 日本の組織・コミュニティは議論に参加できているのでしょうか？
また、実際にはどれほどの発言力があるのでしょうか？

教えて前村先生！ その6

- 我々ネットワーク運用者の立場では何ができるのでしょうか？
- 議論に参加する場合、どのくらいの手間暇がかかるのでしょうか？

今の状態は、 「当然」ではなく「たまたま」 ～まとめの前に～

- 「当然」のように思えること
 - ISPが国際回線なしに海外にも接続できるサービスを提供できる
 - 二事業者の合意だけでピアリングができる
 - インターネットには国境がない
 - ...
 - インターネットは技術的なものだ
 - インターネットはラフコンセンサスで動く

- 日本の組織・コミュニティは議論に参加できているのでしょうか？
また、実際にはどれほどの発言力があるのでしょうか？

教えて前村先生！ その6

- 我々ネットワーク運用者の立場では何ができるのでしょうか？
- 議論に参加する場合、どのくらいの手間暇がかかるのでしょうか？

皆さんの関心が、 ことを動かします。

- 僕は、JANOG的問題意識==
「インターネットを動かす」から、
こういう仕事に至ってしまいました。
- 全員がフルに手間を掛けることではありません。
(そのためにJPNICみたいなところがあります。)
- が、コミュニティ無関心では、JPNICが提出する
意見が「根無し草」になります。
- IGCJやっています！ <http://igcj.jp/>
IGCJ8: 2015/7/28 17:30 @シスコ東京本社

リファレンス

- 日本インターネットガバナンス会議(IGCJ)
 - Webサイト <http://igcj.jp/>
 - メールングリスト <http://igcj.jp/mailling-list/>
- JPNIC Web インターネットガバナンスページ
 - <https://www.nic.ad.jp/ja/governance/>